

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ファイト		公表日		令和7年 2月 3日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	・規定範囲ではあるが十分の広さとは言えない。椅子に座るテーブルと座卓を設置し、学習スペースとおやつを食べるスペース等分けて使えるよう工夫しています。	・玩具の定期的な入れ替えや物の整理を心がけていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		・10名に対して3名の職員を配置しているので問題はないと考えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・視覚支援を行ったり、利用者の動線考えた室内環境を工夫して備品を配置している。	・利用者の特性に応じた支援が出来るように今後も考えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	・カーペットタイルのフロアの為、毎日雑巾がけがしにくい清掃や消毒は日々行っている。空気清浄機や加湿器・換気扇を稼働している。	・今後も換気・清掃を心がけ清潔に保つ工夫をしていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	・事務室の一角に一人用のテントを設置し、クールダウンの際、個室の代わりとしている。また、一人用の机が壁に設置され学習に集中できるように工夫しています。	・現在の施設状況では、工夫する他にスペースを確保できない。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	・第三者外部評価を受けていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・今年度からホームページが出来て、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	4	0		
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・事業所内でこどもの個別の会議を行い、それぞれの課題や配慮を要する事、家族の協力を要請したり学校とも連携をとっています。職員が共通理解をとっています。	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		・毎回全員の支援計画が職員全員に共有できていなかったため共有できるようにしていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		・アセスメントツールの知識を持って見直していきます。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・午前中に十分な打合せが行われている。	・土曜日や長期の休みなどでこどもが朝から利用する時には簡単な打合せの時間をとるなど、工夫していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・支援終了後は送迎に出してしまうので、後で気になった事や気づきを雑談で管理者に伝えたりしています。	・次の日のミーティングで報告しあい改善点は修正していくようにします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	・忙しい業務の中でも支援の記録を必ずとっています。	・記録を生かせるように活用します。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	3.地域交流の機会の提供	
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	3	1	1.自立支援と日常生活の充実のための活動 2.創作活動 3.地域交流の機会の提供 4.余暇の提供 を組合せて活動しています。	・地域交流の機会の提供として、まずは現在参加しているボッチャの大会など積極的に皆が取り組んでいけるように呼びかけていきます。
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1		・児童発達支援センターとの連携が持ていないので、今年度は動いていきたいと思っています。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				・今年度は児童発達支援の利用者はありませんでした。
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】 （自立支援）協会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0			
38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2			

	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		・該当者はまだいません。
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		・療育情報交換会には出席しているが、協議会の参加メンバーにそもそも入っていないので参加できていません。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		・サービス開始の時に必ず説明を保護者に行っています。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	・コロナ禍で出来ずにいた、保護者こどもの交流会を今年は持つ事が出来ました。	・きょうだいも来られる人はいましたが、初回なので交流が十分に持てたとはいえません。スタッフの人数の関係できょうだいも参加できる交流が持ちにくいのが現状です。
	46	子どもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		・時期を見ておたよりを出したりインスタグラムで日々の活動を発信しています。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		・インスタグラムでは、子どもの顔を隠したり名前をイニシャル表記したりして引き続き意識していきます。
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		
51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・ファイトサロンと題した相談の機会をもうけている。	・年度の後半は機会が提供できていないので定期的に開催できるようにしていきます。	
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・LSTやSSTの療育内容として防犯や感染症対策など子どもを巻き込んで行っています。	・誤嚥の防止や感染症対策の研修を所内で今年度実施したので、マニュアルの周知徹底を訓練で行っていきます。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・非常災害発生を想定した避難訓練を定期的に行い、スタッフの役割を決め練習しています。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		・医師の指示書がある対象児はいません。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・ヒヤリハット報告書に記入し会議を持ち、日々の業務に生かしています。	・お子様に関連する事は、保護者の方にも報告し対策を立てる事で再発防止に努め、ご理解いただくようにしています。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		

60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	2		
----	--	---	---	--	--